






北海道150年特別功労賞受賞者名簿

※ 年齢は、発表日（平成30年9月4日）現在

（敬称略、功績分野名順）

ふりがな 氏名	写真	年齢	主な役職等	功績分野 名	功績の概要
かとう ただし 加藤 忠		79歳	公益社団法人北海道アイヌ協会 理事長 公益財団法人アイヌ民族文化財団 副理事長 アイヌ政策推進会議委員	アイヌ民族への理解促進・文化振興	18年間にわたる白老町ウタリ生活指導員(当時)の経験を踏まえ、北海道アイヌ協会理事長等として、アイヌの方々の生活向上等に取り組んでいるほか、国の「アイヌ政策推進会議」等に参画し、「民族共生象徴空間」の2020年開設に向けた構想・計画の取りまとめなどに尽力するとともに、先住民族アイヌに関する総合的な政策を推進するための新たな法律の制定に向けた取組等、アイヌ民族への理解促進及び文化の振興に大きく貢献した。
はし なみぞう 橋 浪蔵		85歳	社会福祉法人緑星の里 名誉会長理事 元 社会福祉法人美々川福社会 理事長 元 北海道議会議員	ノーマライゼーションの推進	障がい者への総合的な支援体制の構築を目指し、地域で入所施設を開放するなど、住民との交流を継続的に実施し、地域生活への復帰促進に取り組むほか、知的障がい等を持つ方が入所する生活寮や通勤寮等を設置し、生活と就労両面の確保に努めた。国や道等に対して積極的な政策提案を重ね、グループホームなど在宅事業等の施策の推進に尽力した。障がい者が自立して暮らし働くノーマライゼーションの推進に大きく貢献した。
にしやま とみよし 西山 富義		80歳	北海道製麺協同組合相談役 元 西山製麺株式会社 代表取締役会長 元 全国製麺協同組合連合会 副理事長	食産業振興	縮れ麺の「サッポロ西山ラーメン」を開発し、本州、海外への製品出荷により「札幌ラーメン」ブランドを確立した。ラーメン店の開店準備や育成支援などラーメン業界の発展に努めるほか、北海道製麺協同組合役員として、農業団体とも連携し道産小麦の振興に取り組んだ。札幌市内の小学生向け社会科副読本の制作協力や、年間、約180校・1万6千人の工場見学の受入れ等を通じて、北海道の食産業の振興に大きく貢献した。

ふりがな 氏名	写真	年齢	主な役職等	功績分野 名	功績の概要
おがわら 小川原 ただし 格		69 歳	一般社団法人小樽観光協会 相談役 国土交通省観光庁・観光カリスマ 株式会社藪半代表取締役	観光地づ くり	蕎麦店経営のかたわら小樽運河保存運動に関わり、「小樽運河百人委員会」等で運河保存の意義を広く訴えるとともに、運河を観光資源として活用し新たなまちづくりの推進に取り組んだ。また、北海道を代表する冬のイベント「小樽雪あかりの路」等を企画・実施したほか、後志管内の広域的な観光振興にも尽力した。歴史や自然など地域の特性を生かした、賑わいのある観光地づくりに大きく貢献した。
しちく 紫竹 あきよ 昭葉		91 歳	有限会社紫竹ガーデン遊華 代表取締役社長	国内外へ の魅力発 信	英国式（自然風）植栽を基本とする庭園「紫竹ガーデン遊華」を開園し、庭園づくりの楽しさや素晴らしさ、花や植物が有する生命力、豊かさなどを広く発信した。平成 15 年の「ガーデンアイランド北海道」の設立にも尽力した。花・庭園といった本道の優れた資源を見出し、ガーデン事業を広域的なネットワークで展開する取組に発展させ、国内外への北海道の魅力発信に大きく貢献した。